



## 俳句部会

部会長 橋 優治

開催日時 毎月第3日曜日 開催場所 生涯学習センター

俳句部会の活動は、なんとといっても句会が中心です。句会は月に一度開かれています。2024年5月の句会で285回を数えました。句会とは、複数の人間が自作の俳句を出し合い、評価。批評しあうために行われる集まりです。そして自分の作品の良いところや、至らぬところを学ぶ場でもあり、仲間の作品の素晴らしさや良い句の理由を発見する場でもあります。

句会はどういったことが行われるかというと

- ① 予め兼題2句（6月の場合、「夏富士」「紫陽花」）と当季雑詠2句の計句をインターネットで決められた期日までに担当者に送る。
- ② 句会に出席する。担当者から配られた選句表を見て、自分が気に入った4句を6句選ぶ。欠席投句も欠席選句も可能です。
- ③ 選んだ句を各人が発表する。
- ④ 沢山の得点が入った順に、その句を選句した各自が選句埋山を述べる。
- ⑤ 句の作者が明かされる。④⑤が何度も繰り返される。
- ⑥ 次の句会の兼題が決められ、解散。

俳句を作ることは、言葉を知る機会でもあります。脳トレにもなりますよ！

明け方」を意味する表現を拾っても「あかとき(明時)」「あけぼの(曙)」「あさまだき(朝まだき)」「かはたれ(彼は誰)」「ぎょうあん(暁暗)」「しののめ(東雲)」「みめい(未明)」「れいめい(黎明)」などがあります。日本語は奥が深いですね。漢字に情景があります。

赤時の冷えことさらに竹の節	吉田 敏夫
朝まだき小滝の響く座禅堂	村川 雅子
かはたれの瀬音に混じる鳴の声	木下 美津女

俳句部に入って俳句を楽しみませんか。ただいま部員は10名です。





## 俳句部会

部会長：橋 優治

開催日時：毎月 第三日曜日

開催場所：生涯学習センター

平成 27 年 7 月で 180 回の句会を達成しました。現在、会員 15 名、毎回 10 名前後の出席で各々 3 句（兼題 2 句、当季雑詠 1 句）投句、5 句選句、欠席投句もあり、吟行は春、秋の年 2 回で進めています。時に顧問をお願いしている杉本先生の優しいご指導、助言も頂きながらの和気藹藹、楽しい句会です。

かの正岡子規は「俳句は五七五の組み合わせ、順列組合せで作品の数に限界が来る。

自分が死んで百年たったら俳句はなくなる」と予言したとか。百年はとっくに過ぎましたが今や日本の俳句人口は六百万とも一千万とも。世界各国でも流行っているようです。

自然が身近になります。花鳥風月と仲良しになれます。そして楽しく頭の体操ができます。

健康ハイク（俳句）と行きましょう♪♪ 皆さんの参加をお待ちしています。

『五臓六腑染まれと森の緑吸ふ 原柯城』 『天高し高しと腰に万歩計 菖蒲あや』